



ORIGINAL VIDEO GAME

取扱説明書

OPERATOR'S MANUAL

■ ビートマニア III アペンド 6th MIX ■

beatmania III APPEND™ 6th MIX

© 2001 KONAMI

コンバージョンキット



- 万一取り扱いを誤ると、故障や事故の原因になりますので、運用前に必ず本書をよくお読みになり、十分に理解された上でご使用ください。
- 本書が必要になったときに、すぐに利用できるよう大切に保管しておいてください。

コナミ株式会社

本製品のご使用にあたって

このたびはコナミ製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
本書は、製品を安全に正しく運用していただくための説明を記載しています。



- 万一取り扱いを誤ると、故障や事故の原因となりますので、運用前に必ず本書をよくお読みになり、十分に理解された上でご使用ください。
また、本書の記載内容を守っていただきますようお願いいたします。
- 本製品を運用する前に、お手持ちの本体取扱説明書もあわせてお読みください。
- 本書が必要になったときに、すぐに利用できるよう大切に保管しておいてください。

● 本製品は次の機種に対応しています。 それ以外の機種には絶対にご使用にならないでください。

- ・ ビートマニア III (GQ972-JA)
- ・ ビートマニア III アペンドコアリミックス (GCA05-JC)

- 本製品は日本国内専用です。 また、本製品の仕様は性能の向上その他の理由により、予告なく変更することがあります。
- 本書の記載内容についてご不明な点などがありましたら、最寄りの「コナミ サービスセンター」にお問い合わせください。
- 本製品、およびソフトは、外国為替および外国貿易管理法により規制されている、戦略物資に該当します。
- 本製品は日本国外に持ち出さないでください。 日本国外に持ち出したことによるトラブル、故障、および損害などについては、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品のゲーム内容、主要な機構、および意匠などは、特許法、著作権法、並びにその他の知的財産に関する法律で保護されています。
- 本書の記載内容の一部または全部を、無断転載することはかたくお断りします。

© 2001 KONAMI

も く じ

■安全にお使いいただくために	2
■本製品の取り付け概要と作業の流れ	6
1 筐体への取り付け	7
1-1 本製品の導入について	7
1-2 ROMの交換	8
1-3 CD-ROMの交換	12
1-4 HDDの交換	14
1-5 セキュリティキーの交換	15
1-6 タイトルパネルの交換	16
1-7 ポップの取り付け	17
2 ゲームセッティング	18
2-1 ゲームの起動確認	18
2-2 ゲーム内容の設定と調整	19
2-3 各モードについての説明	20
3 遊びかた	30
4 正常に作動しないとき	32
5 システムリカバリーモード	35
6 付属資料	36
■コナミ サービスセンターについて	巻末

仕 様

名 称	ビートマニアⅢ アペンド 6th MIX コンバージョンキット
キ ャ ッ ト 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱説明書 ・ お問い合わせ先一覧表 ・ ROM (A21 JC A03) ・ CD-ROM (A21 JC A01) ・ HDD (A21 JC A02) ・ セキュリティキー ・ タイトルパネル ・ ポップ
	<ul style="list-style-type: none"> 本書 1 1 1 1 1 1 1

- 万が一不足の品や不良品などがありましたら、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
- 本製品の仕様は、性能の向上その他の理由により、予告なく変更することがあります。

■ 安全にお使いいただくために

本書では、本製品を設置、使用、およびメンテナンスなどをする人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ず守っていただきたいことを、次のように説明しています。

必ずお読みください

- 表示内容を無視し、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の度合いを、次の表示で区分しています。



警告

この表示は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示は「傷害または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 守っていただく内容の種類を、次の絵表示を使って説明しています。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

- 本製品を取り扱う店舗メンテナンスマン、および技術者の定義

- 本書に記載している説明の中に、「店舗メンテナンスマン」、または「技術者」が行うよう指示のある作業は、必ず知識や技術のあるかたが行ってください。

- ・感電や故障、重大な事故の原因になります。
- ・本製品の部品交換、保守点検、および異常時の対処は、「店舗メンテナンスマン」、または「技術者」が行ってください。本書では、特に危険な作業については「技術者」が行うよう指示しています。「店舗メンテナンスマン」、「技術者」の定義は次の通りです。

店舗メンテナンスマンとは

- ・AM機器や両替機などのメンテナンスの経験を有し、AM機器（本製品）の所有者、および運営者の管理のもとにおいて、AM施設内、または店舗内で日常的に機器の組み立て、設置、保守点検、およびユニット、消耗部品の交換などを通じて機器の保守管理に携わる人。

店舗メンテナンスマンの行動

- ・AM機器や両替機の組み立て、設置、保守点検、およびユニット、消耗部品の交換。

技術者とは

- ・AM機器製造メーカーで、機器の設計、製造、検査、メンテナンスサービスに携わる人、並びに工業高等学校卒業と同等以上の電気、電子、機械工学に関する専門的な技術知識を持ち、日常的にAM機器の保守管理、修理に携わる人。

技術者の行動

- ・AM機器や両替機の組み立て、設置、電気、電子部品、および機構部品の修理、および調整。

警告

●本製品の取り扱いを誤ると、故障や事故の原因になりますので、取り付ける前に必ず本書をお読みください。また、本製品の取り付けは必ず技術者が行うか、最寄りの「コナミ サービスセンター」にお申しつけください。(有料)

●本製品を筐体に取り付ける際は、十分注意して取り扱ってください。

- ・誤った取り扱いは、故障、事故の原因になります。
- ・構造上、筐体内部の部品は熱くなります。十分に冷めるまで触らないでください。
- ・構造上、本製品や筐体内部の部品には突起物があります。けがをしないよう十分注意してください。

●本製品の上や近くには、水や薬品の入った容器や物を置かないでください。

- ・水分や異物が内部に入ると、感電や故障の原因になります。



禁止

●筐体内部には、電圧が高い部分があり危険です。技術者以外は、筐体の前面扉および背面扉を開けないでください。また、扉を開けた際には、モニター周辺など不用意に触らないよう十分注意してください。

- ・事故や感電の危険があります。



禁止

●本製品を取り付ける際は、必ず筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。

- ・故障や感電のおそれがあります。



電源プラグを抜く

●本製品を取り付ける前に、筐体内やPCBユニット上のほこりを掃除機などで取り除いてください。

- ・電気部品などにほこりが積もった状態で放置すると、感電や火災の原因になります。

●本製品を取り付ける際は、コネクタ類を確実に接続してください。

- ・故障、または火災の原因になります。

●本書で指示のない個所の分解や修理、各種設定、改造は絶対にしないでください。

- ・火災や作動不良、故障の原因になります。
- また、修理などは最寄りの「コナミ サービスセンター」にご依頼ください。
- 指示のない個所の分解や修理、各種設定、改造によって発生した損害については、当社は一切責任を負いません。

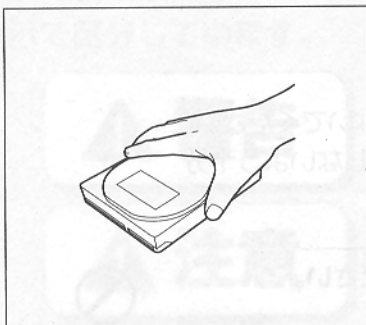


分解禁止

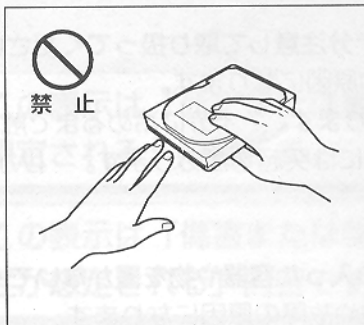
⚠ 注意

● HDD 取り扱いの注意

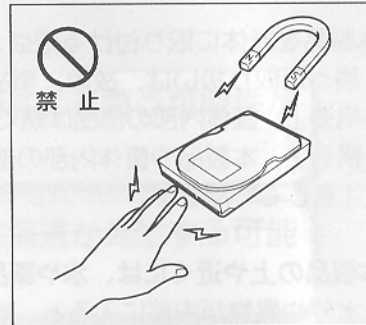
- ・HDD（ハードディスクドライブ）を取り扱う前に必ずお読みください。
- ・故障、事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



持ち運びには両側面を持ってください。



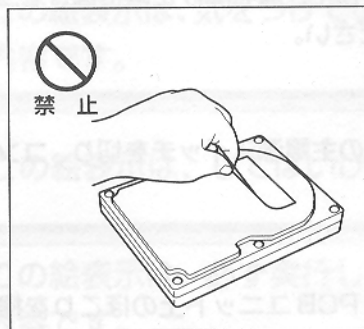
トップカバーに力を加えない
端子部分に触らない
→故障の原因となります。



静電気を帯びた手や物で触らない
磁気を帯びたものを近づけない
→故障の原因となります。



分解または改造をしない
→故障の原因となります。



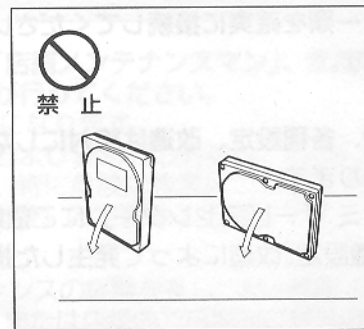
どのラベルもはがさない
→故障の原因となります。



衝撃や振動を加えない
→片落として1.5cm以上の高さから落とした場合は故障の原因となります。








衝撃や振動を加えない
→両落として1cm以上の高さから落とした場合は故障の原因となります。



縦には絶対に置かない
→水平方向に倒れることがあると故障の原因となります。

⚠ 注意

- 本製品は次の機種専用です。 それ以外の機種には絶対に使用しないでください。
・故障の原因になります。  禁止
・ビートマニアIII (GQ972-JA) ・ビートマニアIIIアペンドコアリミックス (GCA05-JC)
- ゲームソフト (ROM・CD-ROM・HDD) やセキュリティキーを着脱するときは、アースバンドなどで除電対策を行ってください。 また、じゅうたんやカーペットの上では、作業を行わないでください。
・静電気の発生は、PCBユニット内の電子部品やHDDを破損させる原因になります。  禁止
- ゲームソフト (ROM・CD-ROM・HDD) やセキュリティキーを濡らしたり、指紋、汚れ、傷などをつけたりしないでください。 また、セキュリティキーやHDDの端子部に触れたり、傷などをつけないでください。 CD-ROMを汚したときやほこりなどが付着しているときは、市販のCDクリーナーを用いてクリーニングしてください。
・正常にゲームができなくなったり、誤作動や故障の原因になります。  禁止
- CD-ROMドライブのトレイは、引き出した状態で放置しないでください。
・ほこりなどが付着、および蓄積され、正常にゲームができなくなったり、誤作動や故障の原因になります。  禁止
- ゲームソフト (CD-ROM) を機器にセットするときは、必ずレーベル面 (タイトルなどが印刷されている面) が見える向きで装着してください。
・正常なインストール、またはゲームができなくなります。
- PCBユニットの作動中は、ゲームソフト (ROM・CD-ROM・HDD) やセキュリティキーを抜き差ししないでください。
・正常なインストール、またはゲームができなくなります。  禁止
- ご使用になる筐体、またはPCBユニットに接続するコネクタやケーブル類が損傷しているときは、直ちにご使用を中止し、最寄りの「コナミ サービスセンター」に部品交換を依頼してください。
・破損した状態でのご使用は、火災や感電の原因になります。
- プレーヤーには次のことを呼びかけてください。
・事故や病気を誘発したり、症状が重くなる原因になります。

<ul style="list-style-type: none"> ・次の方はプレーしないでください。 ・飲酒している。 ・疲労、睡眠不足、病中病後、ケガ、および体調がすぐれない。 ・妊娠している、または妊娠の可能性がある。 ・音、光、映像などの刺激で筋肉のけいれんや意識の喪失などを経験した。もしくはそのおそれがある。 ・医師から激しい運動を制限されている。

- プレー中には次のことを呼びかけてください。
・事故の原因となります。

<ul style="list-style-type: none"> ・過激なプレーは、けがをするおそれがあるのでやめください。

おねがい

- 本製品の設置、取り扱いのしかたなどは、本書の手順、および記載内容にしたがって安全に行ってください。
- 製品に貼り付けてある「警告」「注意」などのラベルは、はがさないでください。
- 間接的に警告、または注意に相当する条件下での設置は、やめてください。
- 本製品を譲渡されるなどして所有者が変わるときは、本書を次の所有者に必ず渡してください。
- 本書を紛失、または破損したときは、最寄りの「コナミ サービスセンター」にご相談ください。

■ 本製品の取り付け概要と作業の流れ

■ 取り付けにあたっての主な流れ

本製品の取り付けは必ず次の手順で行ってください。

1 ビートマニアIII アペンド 6th MIXのソフト交換

1 主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜く

→ 8ページ

(以降の作業は、必ず技術者が行ってください)

2 筐体の前面メンテナンスドアを開ける

→ 8ページ

3 ROMの交換を行う

→ 9ページ

4 CD-ROMの交換を行う

→ 12ページ

5 HDDの交換を行う

→ 14ページ

6 セキュリティキーを交換する

→ 15ページ

2 タイトルパネルの交換を行う

→ 16ページ

3 ポップを取り付ける

→ 17ページ

4 電源を入れ、バックアップメモリのクリアを行う

→ 18ページ

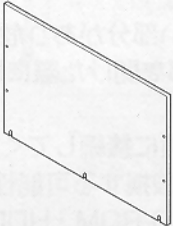

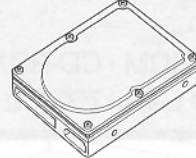
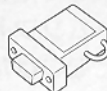
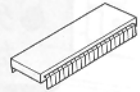
5 テストモードで各モードの設定を行う

→ 19ページ

1 筐体への取り付け

1-1 本製品の導入について

・導入に必要な部品 (付属部品)

部品名	数量	内容
タイトルパネル	1	 タイトルパネル
ソフト	1	    CD-ROM HDD セキュリティキー ROM
ポップ	1	

— 取り付けにあたって用意していただくもの —

- ・ ⊕ドライバー (#2) (磁気を帯びていないものをご用意ください)
- ・ アースバンド (機器の取り扱いの際に静電気を除去するのに必要です)
- ・ 細い棒 (CD-ROMドライブのトレイを引き出すのに使用します)
- ・ メンテナンス用鍵
- ・ IC (ROM) 引き抜き工具

重要事項

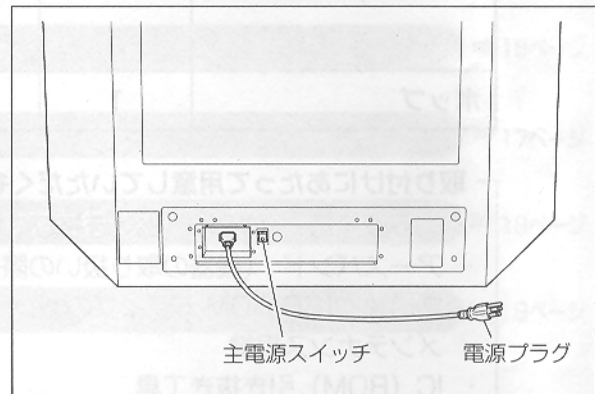
- ・ 本製品の導入後、それまでご使用のROM、CD-ROM、HDD、セキュリティキーは使用しませんので、お客様にて保管しておいてください。
- ・ 万一セキュリティキーを紛失された場合、再発行、および部品としての販売はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ CD-ROMを交換する前にテストモードの設定値を記録 (メモ) してください。
CD-ROMの交換を行いますと、それまでご使用のテストモードの値が初期化されます。
本製品導入後に今までと同じ設定で運営を行う場合は、記録 (メモ) 通りにテストモードの設定を行ってください。

1 - 2 ROMの交換

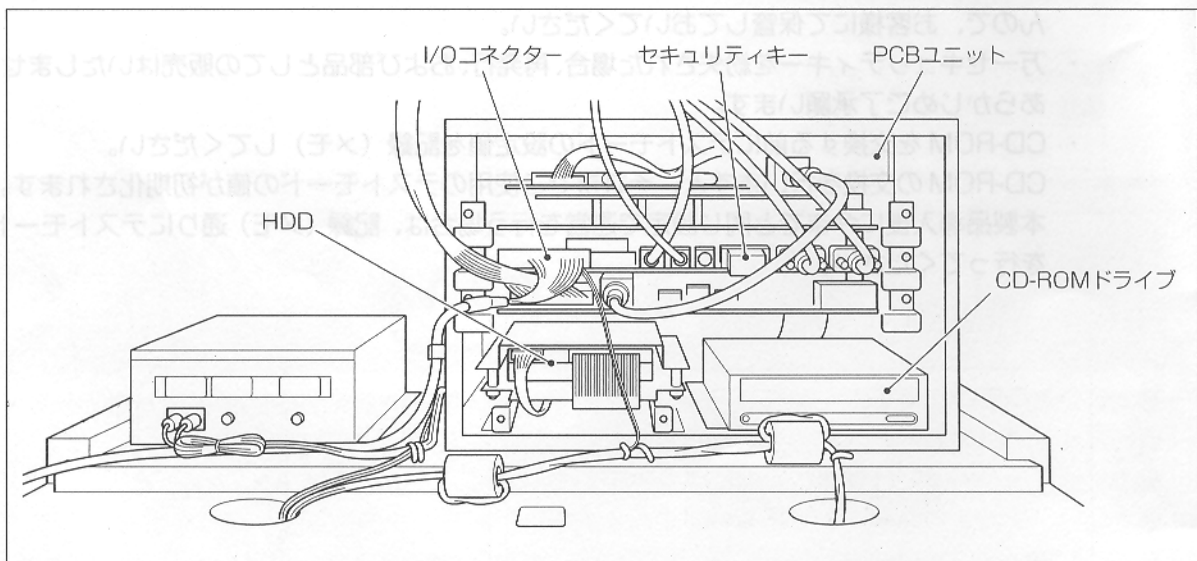
- ゲームソフト (ROM・CD-ROM・HDD) とセキュリティキーの交換は必ず技術者が行うか、最寄りの「コナミ サービスセンター」にお申し付けください。(有料)
- 本製品を取り付ける際は、必ず筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- 筐体内部には、電圧が高い部分があり危険です。技術者以外は、筐体の前面扉を開けないでください。また、前面扉を開けた際には、筐体内部を不用意に触らないよう十分注意してください。
- ROMやコネクターは確実に接続してください。不完全な接続で電源を入れると、ROMやHDD、PCBユニットを破損する可能性があります。
- ゲームソフト (ROM・CD-ROM・HDD) やセキュリティキーを着脱するときは、アースバンドなどで除電対策を行ってください。また、じゅうたんやカーペットの上では作業を行わないでください。
- ゲームソフト (ROM・CD-ROM・HDD) やセキュリティキーを濡らしたり、指紋、汚れ、傷などをつけたりしないでください。



- 1 筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜きます。



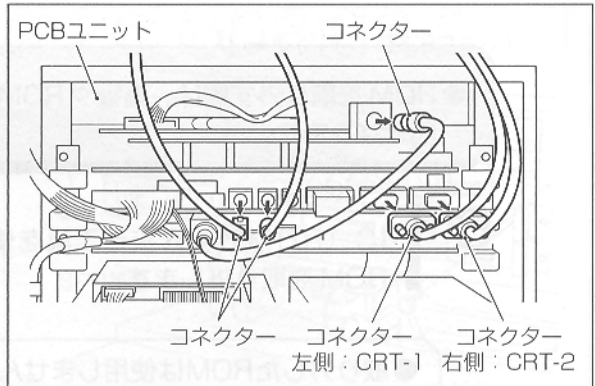
- 2 前面メンテナンスドアをメンテナンス用鍵を使用して開けます。筐体内部には図のように各機器が配置されています。



- 3 PCBユニットに接続されているコネクタ（5カ所）を抜きます。

- コネクタ No. CRT-1、CRT-2については形状が同じなので、取り外す際は、テープなどを貼ってNo.を控えておいてください。（接続する際に、間違わないようにするためです）

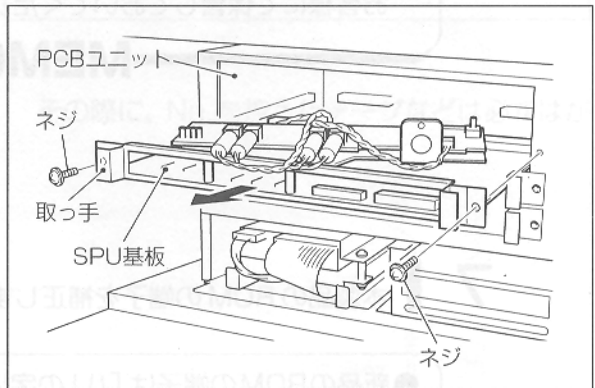
MEMO



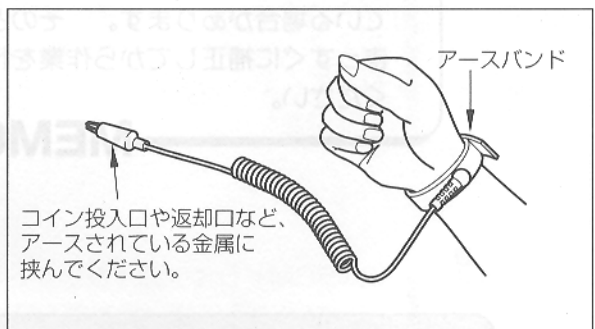
- 4 ネジを外し、取っ手を手前に引いてSPU基板を取り外します。

- SPU基板を置く際には、必ずSPU基板より大きめの紙などの上に置いてください。

MEMO

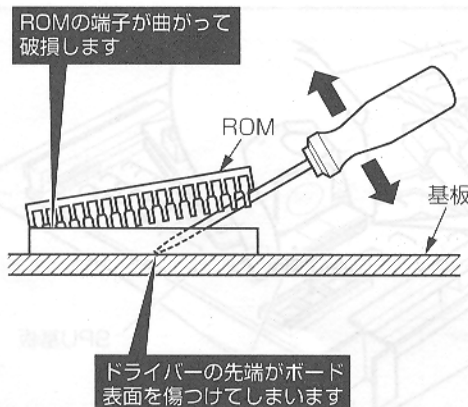


- 5 静電気の発生を防止するため、アースバンドを装着します。また、以降の作業も必ずアースバンドを装着した状態で行ってください。（アースバンドは付属されていません）

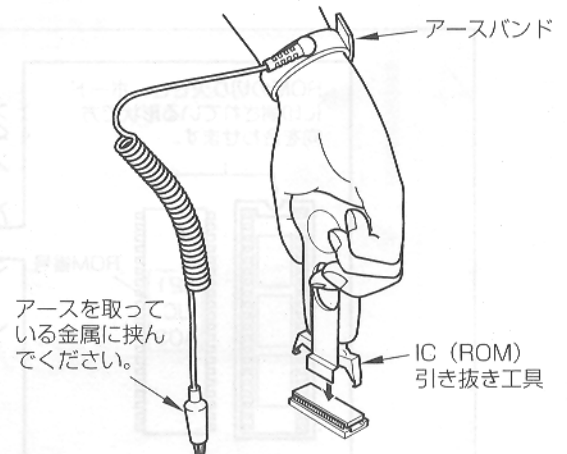


■ ROMの外しかたに関する注意事項

- ✕ ドライバーなどを差し込んで、こじあけないでください。基板やROM破損の原因となります。



- 市販のアースバンドを装着して、IC (ROM) 引き抜き工具を使用してください。

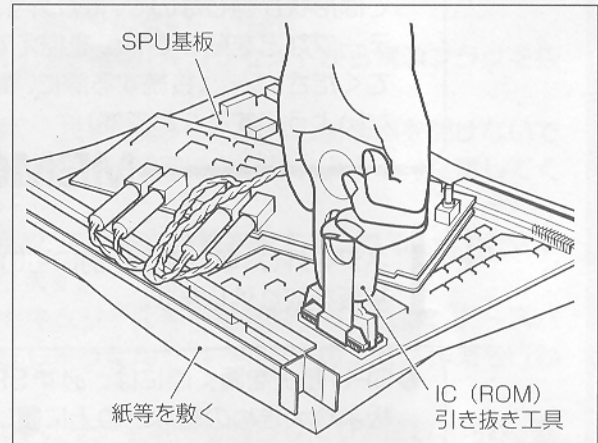


- ROMを取り外す際は、基板やROMに無理な力を加えないでください。破損や故障の原因となります。

6 IC (ROM) 引き抜き工具を使用してROMを取り外します。

- 取り外したROMは使用しませんので、お客様にて保管しておいてください。

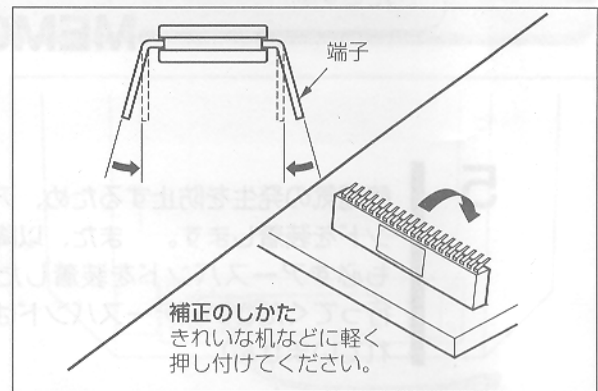
MEMO



7 本製品のROMの端子を補正します。

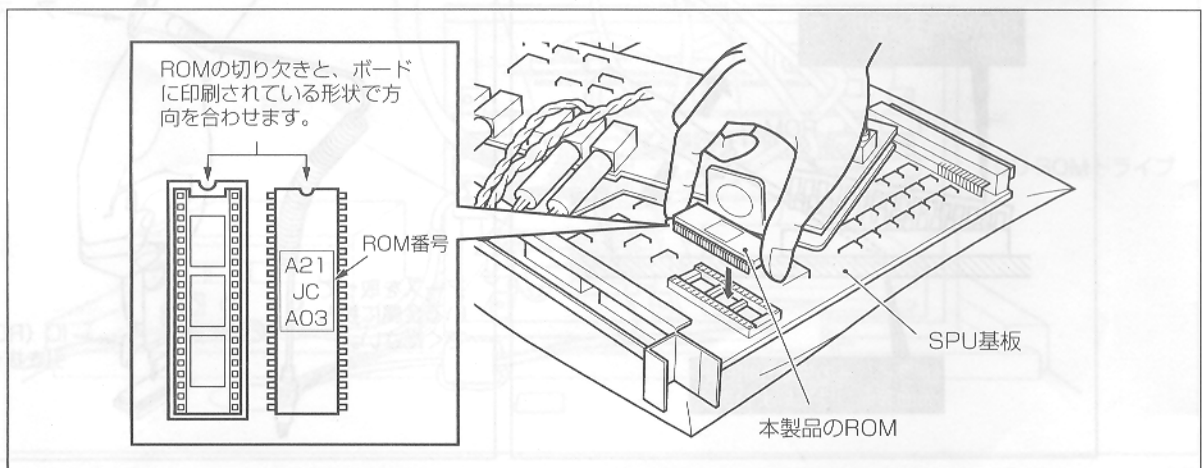
- 新品のROMの端子は「ハ」の字になっている場合があります。そのときはまっすぐに補正してから作業を行ってください。

MEMO

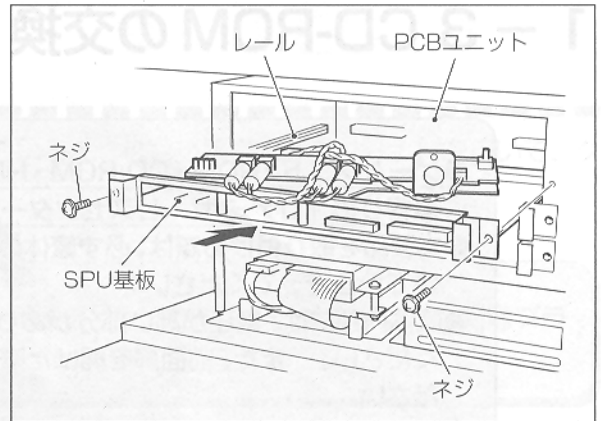


- ROMを取り付ける際は、確実に行ってください。無理に押し付けたり、不完全な取り付けで電源を入れると破損や故障の原因となります。

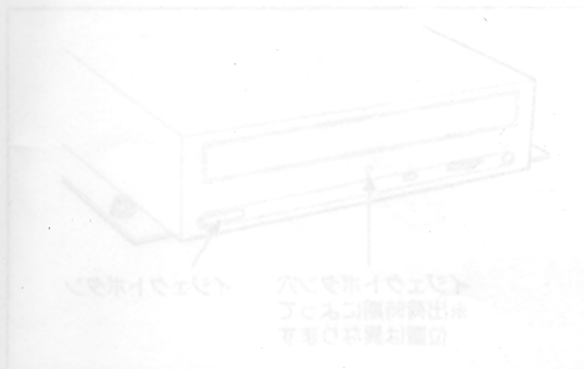
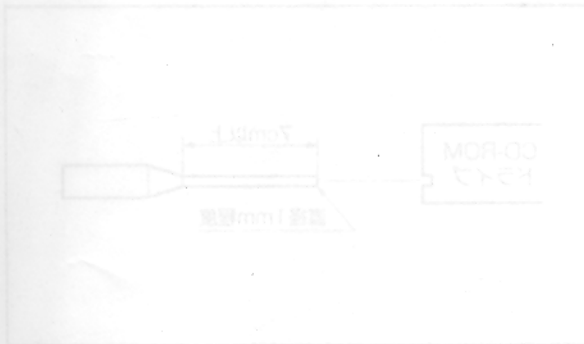
8 ROMをもとの位置に取り付けます。



9 ROMを交換したSPU基板を、PCBユニットのレールに合わせて取り付け、ネジで固定します。



10 手順3で抜いたコネクターを接続します。その際に、No.を控えたテープなどは必ずはがしてください。



手順3で抜いたコネクターを接続します。その際に、No.を控えたテープなどは必ずはがしてください。

穴径mmの穴にCD-ROMを挿入します。

MEMO
穴径mmの穴にCD-ROMを挿入する際は、穴径mmの穴にCD-ROMを挿入してください。

穴径mmの穴にCD-ROMを挿入する際は、穴径mmの穴にCD-ROMを挿入してください。

MEMO
穴径mmの穴にCD-ROMを挿入する際は、穴径mmの穴にCD-ROMを挿入してください。

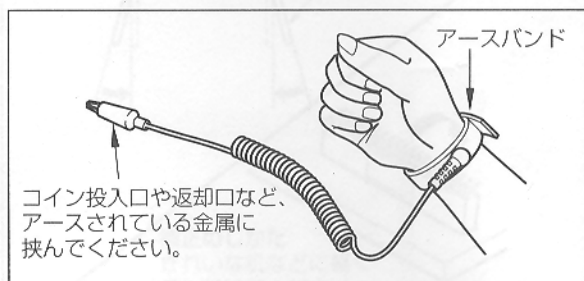
穴径mmの穴にCD-ROMを挿入する際は、穴径mmの穴にCD-ROMを挿入してください。

1-3 CD-ROMの交換

- ゲームソフト (ROM・CD-ROM・HDD) とセキュリティキーの交換は必ず技術者が行うか、最寄りの「コナミ サービスセンター」にお申し付けください。(有料)
- 本製品を取り付ける際は、必ず筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- 筐体内部には、電圧が高い部分があり危険です。技術者以外は、筐体の前面扉を開けないでください。また、前面扉を開けた際には、筐体内部を不用意に触らないよう十分注意してください。
- ゲームソフト (ROM・CD-ROM・HDD) やセキュリティキーを着脱するときは、アースバンドなどで除電対策を行ってください。また、じゅうたんやカーペットの上では作業を行わないでください。
- ゲームソフト (ROM・CD-ROM・HDD) やセキュリティキーを濡らしたり、指紋、汚れ、傷などをつけたりしないでください。

1 主電源スイッチが切られ、コンセントから電源プラグが抜かれているのを確認します。

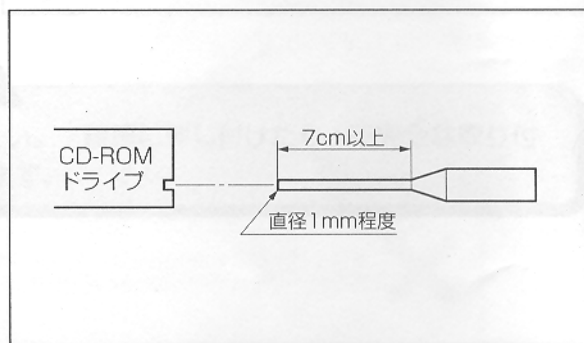
2 静電気の発生を防止するため、アースバンドを装着します。また、以降の作業も必ずアースバンドを装着した状態で行ってください。(アースバンドは付属されていません)



3 CD-ROMドライブのイジェクトボタン穴に、図のように細い棒を差し込んで、トレーを引き出します。

- イジェクトボタン穴はイジェクトボタン付近にある直径1ミリ程度の小さな穴です。出荷時期によって穴の位置が異なることがあります。

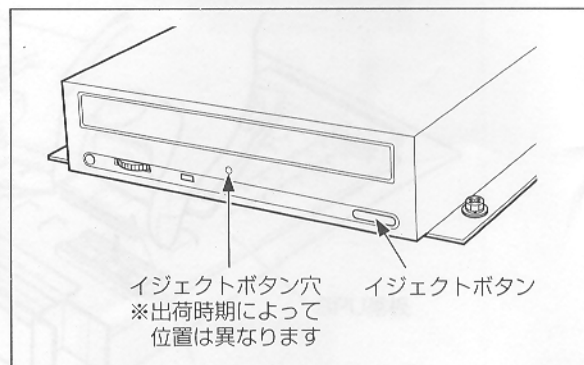
MEMO



4 今までご使用のCD-ROMを取り出し、本製品のCD-ROMをレーベル面(印刷している側)を上にしてセットします。

- 取り出したCD-ROMは使用しませんので、お客様にて保管しておいてください。

MEMO



5 トレーの中央部を軽く押して、奥まで確実に押し込んでください。

■ CD-ROMのクリーニングについて

CD-ROMが汚れているときやほこりが付着しているときは、市販のCDクリーナーを用いて、クリーニングを行ってください。



- CD-ROMのクリーニングを行う前に、必ず主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。



- 1 主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜きます。

2

- 2 12ページの「1-3 CD-ROMの交換」を参照してCD-ROMを取り出します。



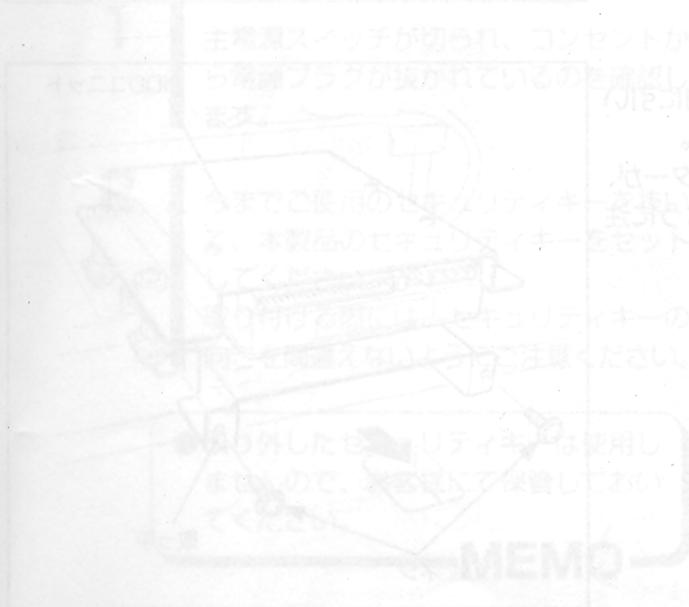
放射状に拭く



円周に沿って拭かない

3

- 3 市販のCD-ROMクリーナーを使用してCD-ROMのクリーニングを行います。その際には、CD-ROMの中心より外周に向けてきれいな布で拭いてください。その他クリーニングについての詳細は、クリーナーの説明書の指示にしたがってください。



MEMO

1-4 HDDの交換

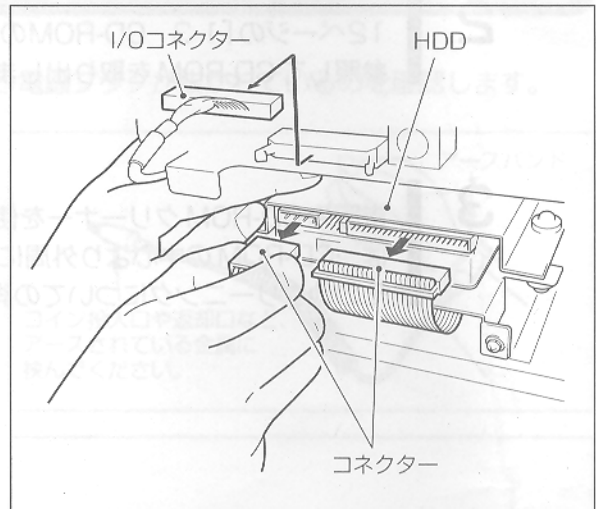


- HDDを交換する際は、必ず筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。電源が入った状態でHDDの交換を行うと、HDDやPCBユニットを破損する原因となります。
- コネクターを外す際は束線の部分を引っ張ると断線のおそれがあります。
- コネクターは固い場合がありますので、けがをしないように気をつけてください。
- コネクターを取り付けるときには、確実に接続してください。不完全な取り付けで電源を入れると、HDDやPCBユニットを破損する場合があります。

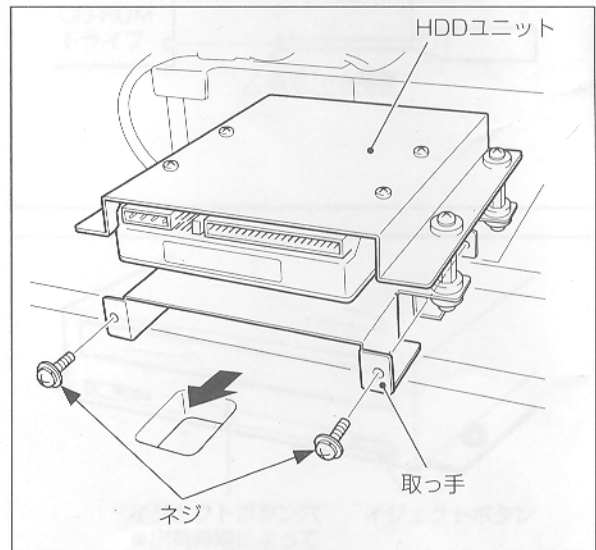
1 主電源スイッチが切られ、コンセントから電源プラグが抜かれているのを確認します。

2 8ページを参照して、I/Oコネクターを抜きます。抜いた束線は作業の支障にならない位置に配置してください。

3 HDDに接続されているコネクター（2カ所）を抜きます。その際には、金具部分を押さえながら、必ずコネクター部分を持って行ってください。



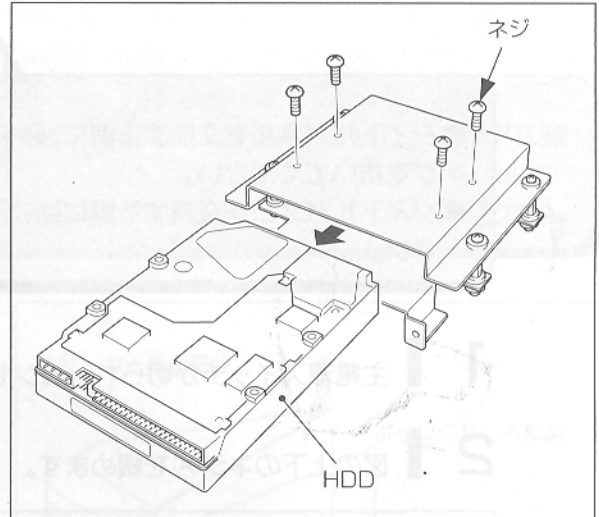
4 図のネジを外して、取っ手を手前に引いてHDDユニットを取り外します。このとき、手順3で抜いたコネクターが、ユニット下部に引っかからないように注意してください。



- 5 図のネジを外して、今までご使用のHDDを取り外します。

- 取り外したHDDは使用しませんので、お客様にて保管しておいてください。

MEMO



- 6 取り外しとは逆の手順で、本製品のHDDを取り付け、I/Oコネクタを接続してください。

1-5 セキュリティキーの交換

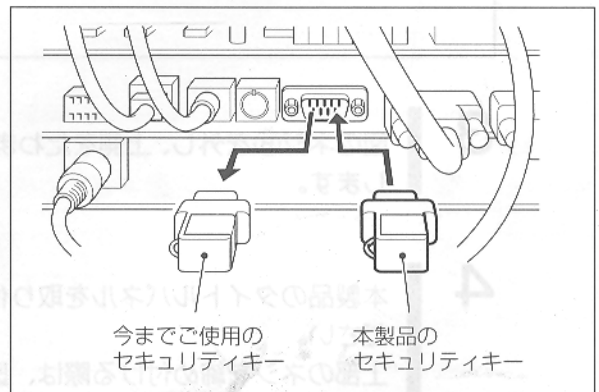


- セキュリティキーの交換の際は、必ず筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。電源が入った状態でセキュリティキーを抜き差しすると、セキュリティキーやPCBユニットを破損する原因となります。

- 1 主電源スイッチが切られ、コンセントから電源プラグが抜かれているのを確認します。

- 2 今までご使用のセキュリティキーを抜いて、本製品のセキュリティキーをセットしてください。

取り付ける際には、セキュリティキーの向きを間違えないようにご注意ください。



- 取り外したセキュリティキーは使用しませんので、お客様にて保管しておいてください。

MEMO

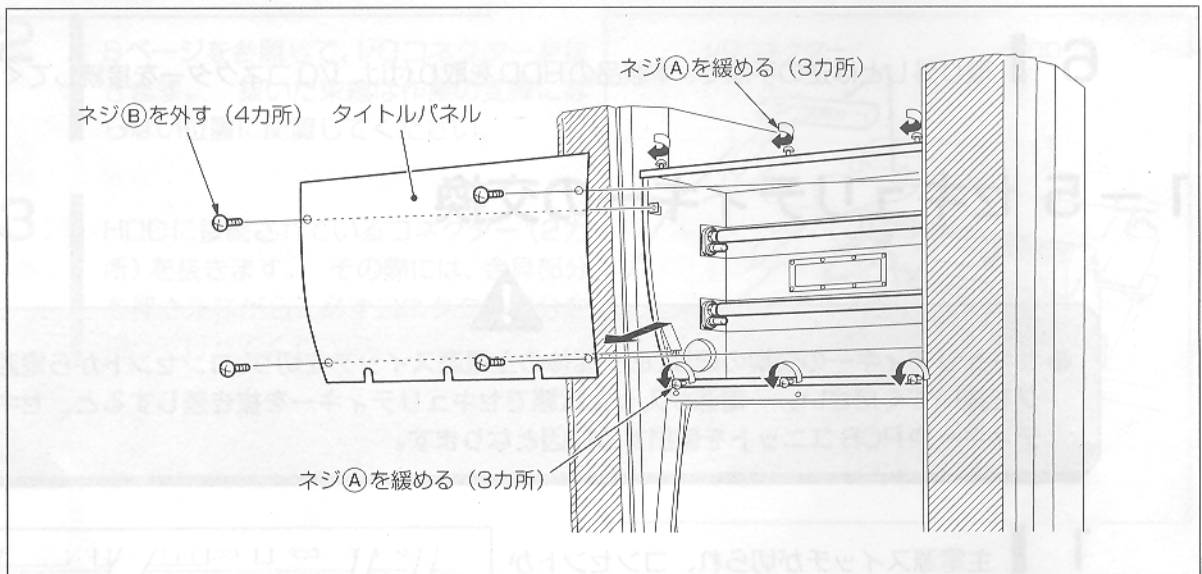
以上でゲームソフトの交換が終了です。引き続き16、17ページを行ってください。また、ご使用前には必ず18ページの「2-1 ゲームの起動確認（セルフテスト）」を行い、19ページの「2-2 ゲーム内容の設定と調整」を行ってください。

1-6 タイトルパネルの交換

- タイトルパネルを交換する前に、必ず筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- タイトルパネルを交換する際には、足場の安定した踏み台などを使用して、安全に行ってください。

1 主電源スイッチが切られ、コンセントから電源プラグが抜かれているのを確認します。

2 図の上下のネジ(A)を緩めます。

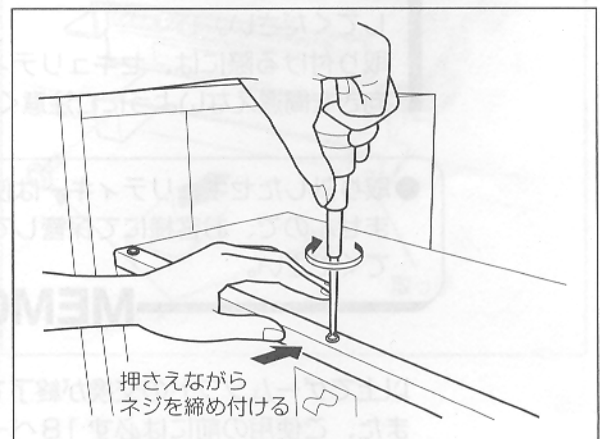


3 図のネジ(B)を外し、上側をたわませるようにして、今までご使用のタイトルパネルを取り外します。

4 本製品のタイトルパネルを取り付けてください。
上部のネジを締め付ける際は、図のように金具でタイトルパネルを押さえながら行ってください。

- 取り外したタイトルパネルは使用しませんので、お客様にて保管しておいてください。

MEMO



1-7 ポップの取り付け



- ポップを取り付ける前に、必ず筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ポップを取り付ける際には、足場の安定した踏み台などを使用して、安全に行ってください。

1 主電源スイッチが切られ、コンセントから電源プラグが抜かれているのを確認します。

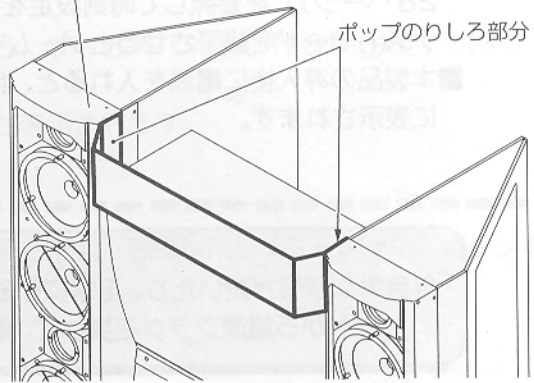
2 ポップの両面テープ部分を、スピーカーの板金部分に合わせて貼りつけてください。

- 詳しい取り付けかたは、ポップ両側に説明しています。

MEMO

スピーカー板金部分

ポップのりしろ部分



2 ゲームセッティング

2-1 ゲームの起動確認

- 本製品の導入後に初めて電源を入れると、セルフテストで下記のエラーが表示されます。

BACKUP ERROR E150 BACKUPRAM UNFORMAT

エラー表示後、すべてのチェックが終了すると画面下に「{ TEST } : TEST MODE」と表示されますので、サービスパネルのTEST (決定) ボタンを押してテストモードに入ってください。次に、28ページの「BACKUP CLEAR」を参照して、バックアップメモリのクリアを行ってください。

メモリのクリアを行うと各種設定が初期化されます。「GAME SETTING (→27ページ)」を参照して設定を行ってください。同じく、内部時計も初期化されますので「TIME SETTING (→28ページ)」を参照して時刻設定を行ってください。

テストモードを終了させるとゲームモードになります。

- 本製品の導入後に電源を入れると、自動的にPCBユニットの作動チェックが行われ、結果が画面に表示されます。



- 異常な状態が続いたり、正常に作動しないなどの場合は、直ちに主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。

■セルフテストの結果

正常な場合

自動的にゲームモード画面になり、ゲームデモが始まります。

「ERROR」が表示されると同時に、エラーコードが表示された場合は、「4 正常に作動しないとき」を参照して、対処を行ってください。

電池交換後にはじめて起動させたとき

PCBユニットに搭載しているバックアップ用電池を交換した際には、セルフテスト後自動的にシステムリカバリーモードになります。そのときは「5 システムリカバリーモード」の項目を参照して復旧を行ってください。

2-2 ゲーム内容の設定と調整

手動操作で、画面表示やゲーム内容に関する各種設定の確認、または設定内容の変更を行います。



- ゲームプレー中にテストモードに入ると、そのゲームは無効となり、プレー中またはプレー前の状態に戻ることができませんのでご注意ください。
- テストモードで各種設定を行っている際に電源が切れると、設定が正常に行われず場合があります。その場合は「BACKUP CLEAR」を行い、すべての項目を設定し直してください。

■ テストモードの起動方法

- 1 電源を入れて起動させます。
- 2 セルフテストが終了し、デモ画面が表示されたら、サービスパネルのTEST（決定）ボタンを1秒程度押してください。
- 3 テストモードが起動し、画面にメインメニューが表示されます。

■ テストモードの終了方法

- 1 テストモードのメインメニューが表示されている状態で、SERVICE（キャンセル）ボタンを押してください。
- 2 画面に次のメッセージが表示されます。

```
GOOD-BYE. TEST MODE {A} : YES
                     {B} : NO
```

この状態でA（上移動）ボタンを押してください。

- 3 セルフテスト後にゲームモードになります。

■ メインメニュー画面（基本項目）

<pre>NO : 00000000 TEST MODE >> I/O I/O (SERIAL) I/O (LAMP) CD CHECK FDD CHECK HDD CHECK RAM CHECK SOUND CHECK COLOR CHECK SCREEN CHECK GAME SETTING TIME SETTING BACKUP CLEAR FDD CLEANING { TEST } : SELECT {A} : UP { SERVICE } : EXIT {B} : DOWN</pre>	<ul style="list-style-type: none"> — 入力、出力装置のチェックを行います。→20~22ページ — CDドライブとCD-ROMのチェックを行います。→22ページ — FDDドライブのチェックを行います。→23ページ — HDDのチェックを行います。→24ページ — グラフィックRAMのチェックを行います。→24ページ — サウンドシステムをチェックします。→25ページ — 画面にカラーバーを表示します。→26ページ — 画面に格子模様を表示します。→26ページ — ゲームに関する各種設定を行います。→27ページ — 時刻設定を行います。→28ページ — バックアップRAMのクリアを行います。→28ページ — FDDドライブのクリーニングを行います。→29ページ
---	---

・上記の画面表示は一例です。

■ モードの選択方法

- 1 テストモードは、サービスパネル上の4個のボタンで操作します。
- 2 メインメニューでは、左側に「>>」が表示されている項目が選択されている項目です。
- 3 項目をサービスパネル上のA（上移動）ボタンとB（下移動）ボタンで選択してください。
- 4 項目が決定したら、TEST（決定）ボタンを押すと各モードに入ります。

2-3 各モードについての説明

I/O

■ サービスパネル上の4個のボタンと左右のフットスイッチの作動と、メインPCBのディップスイッチの設定を確認するモードです。

メインメニュー画面に戻るには、TEST (決定) ボタンとSERVICE (キャンセル) ボタンを同時に押ししてください。

NO : 00000000		TEST MODE (I/O)	
{ A }	BUTTON	: OFF	各ボタンを押すと、画面上に「ON」が赤色で表示されます。
{ B }	BUTTON	: OFF	
{ TEST }	BUTTON	: OFF	
{ SERVICE }	BUTTON	: OFF	
{ FOOT }	PEDAL	: OFF OFF	左側のフットペダルを踏むと左側に、右側のフットペダルを踏むと右側に「ON」が赤色で表示されます。
{ DIP }	SWITCH	: ----- 12345678	ディップスイッチをONにすると、横棒の位置が下がり、赤色で表示されます。
{ SERVICE & TEST } : RETURN			

上記の画面表示は一例です。

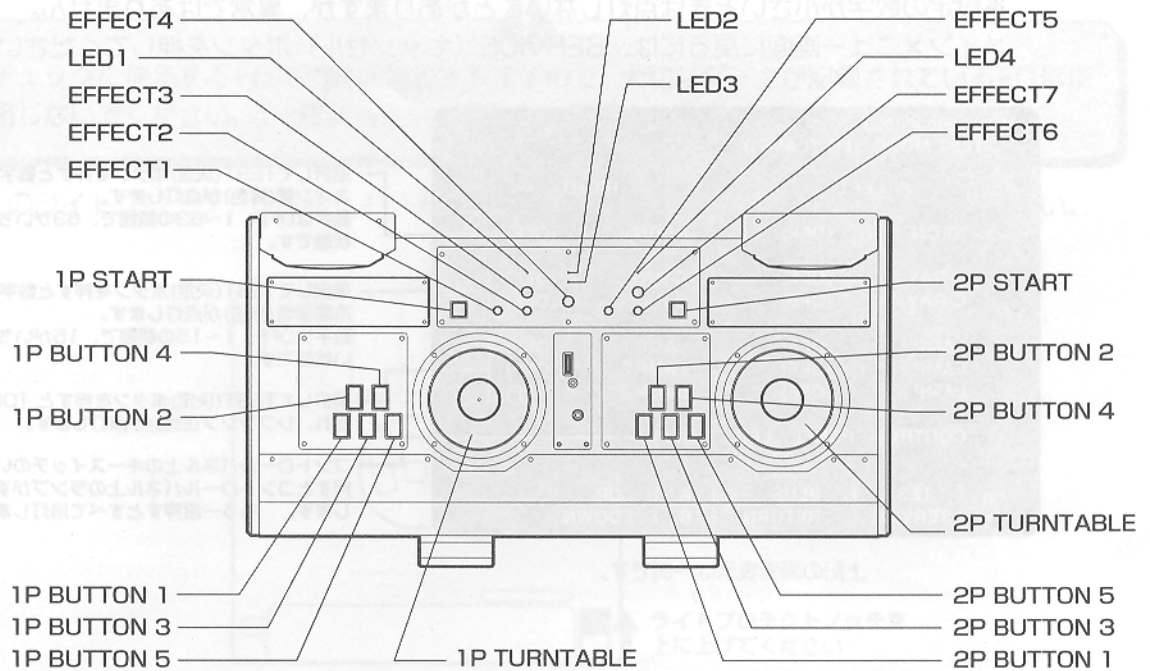


● ディップスイッチは必ずすべてOFF設定で運営を行ってください。それ以外の設定を行うと、作動不良を起こす場合があります。

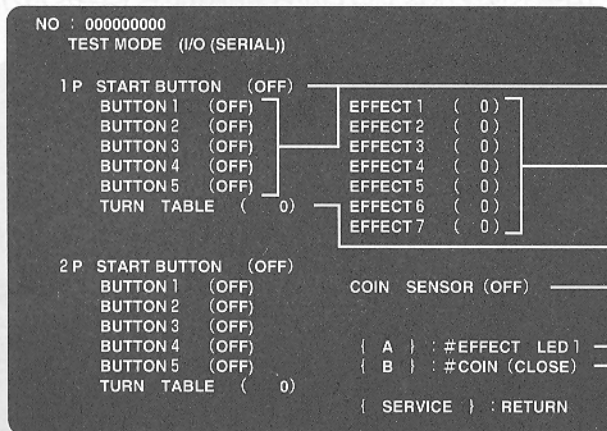
I/O (SERIAL)

■コントロールパネル上の入力、出力装置とコインセレクター、ブロッカーの作動をチェックするモードです。

コントロールパネル上には図のように入力、出力装置が配置されています。



- ターンテーブルやEFFECTツマミは時計回りに回転させることで表示されている数字が増加し、反時計回りに回転させると減少します。
- ターンテーブルは0～1023の範囲、EFFECTツマミは0～31の範囲で増減します。メインメニュー画面に戻るには、SERVICE (キャンセル) ボタンを押してください。



- 各ボタンを押すと「ON」が赤色で表示されます。
- 各EFFECTツマミを回転させると数字が変化します。
- ターンテーブルを回転させると数字が変化します。
- コインセンサーを入れると「ON」が赤色で表示されます。
- A(上移動)ボタンを押すとEFFECTパネル上のLEDが1から4まで順次点灯します。
- B(下移動)ボタンを押すとコインブロッカーが作動し、「OPEN」と表示されます。

・上記の画面表示は一例です。

2-3 各モードについての説明

I/O (LAMP)

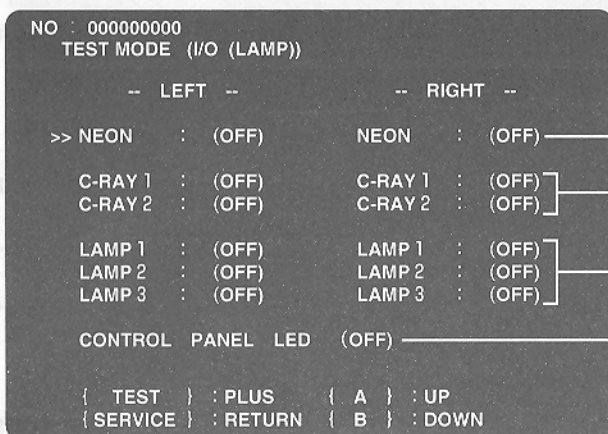
■ランプ類のチェックを行うモードです。

項目をA(上移動)ボタン、B(下移動)ボタンで選択しTEST(決定)ボタンを押すとランプが点灯します。

※ネオン管、冷陰極管はTEST(決定)ボタンを数回押して数字を設定してください。

※設定の数字が小さいときは点灯しないことがあります、異常ではありません。

メインメニュー画面に戻るには、SERVICE(キャンセル)ボタンを押してください。



選択してTEST(決定)ボタンを押すと数字が変わり、ネオン管(青色)が点灯します。数字はOFF、1~63の範囲で、63がいちばん明るい状態です。

選択してTEST(決定)ボタンを押すと数字が変わり、冷陰極管(赤色)が点灯します。数字はOFF、1~15の範囲で、15がいちばん明るい状態です。

選択してTEST(決定)ボタンを押すと「ON」と表示され、レフランプ(白色)が点灯します。

コントロールパネル上のキースイッチのいずれかを押すとコントロールパネル上のランプがすべて点灯します。もう一度押すとすべて消灯します。

・上記の画面表示は一例です。

CD CHECK

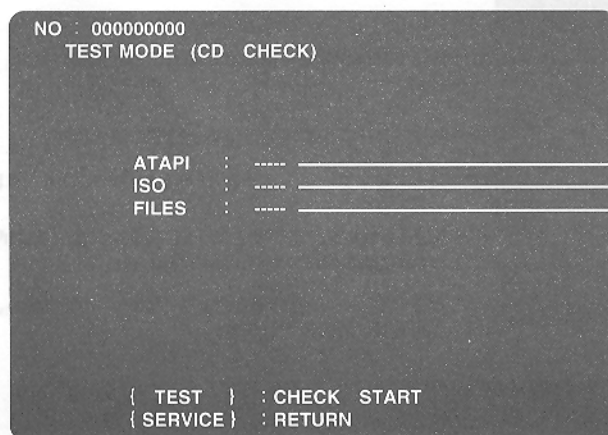
■CD-ROMドライブとCD-ROMのチェックを行うモードです。

TEST(決定)ボタンを押すとチェックを開始します。チェックには約2分程度要します。

チェックが終了すると各項目の右側に結果が表示されます。

メインメニュー画面に戻るには、すべてのチェックが終了してからSERVICE(キャンセル)ボタンを押してください。

※チェックを行っているときは、メインメニュー画面に戻ることができません。



PCBユニットとCD-ROMドライブのチェックです。問題がなければ「OK」と表示されます。

CD-ROMのフォーマットのチェックです。問題がなければ「OK」と表示されます。

CD-ROMのファイルのチェックです。問題がなければ「OK」と表示されます。

・上記の画面表示は一例です。

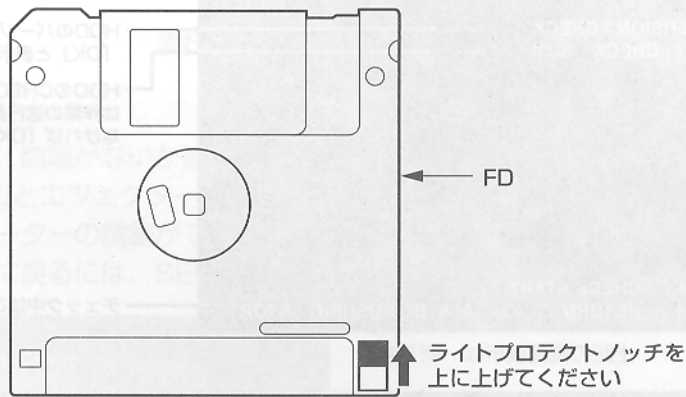
FDD CHECK

■ FDD（フロッピーディスクドライブ）のチェックを行うモードです。チェックを行う前にDOS/V フォーマット済みの3.5 インチ 2HDのFD（フロッピーディスク）を用意してください。



● チェックに使用するFDの内容は消去されますので、大切なデータが記録されているFDは使用しないでください。（一度消去されたデータを復帰させることはできません）

FDのライトプロテクトが解除しているのを確認してから、FDDに確実に挿入してください。



TEST（決定）ボタンを押すと、チェックを開始します。
 チェックが終了すると各項目の右側に結果が表示されます。
 メインメニュー画面に戻るには、すべてのチェックが終了してからSERVICE（キャンセル）ボタンを押してください。
 ※チェックを行っているときは、メインメニュー画面に戻ることができません。

NO : 00000000		
TEST MODE (FDD CHECK)		
TOTAL RETRY : ---	_____	チェックを再試行する回数が表示されます。FDDやFDの状態により値は変化します。
FDC CHECK : ---	_____	PCBをチェックします。問題がなければ「OK」と表示されます。
DISK CHECK : ---	_____	FDDとFDをチェックします。問題がなければ「OK」と表示されます。
90 KB READ : ---	_____	FDからデータを読み込むチェックを行います。問題がなければ「OK」と表示されます。
90 KB WRITE : ---	_____	FDにデータを書きこむチェックを行います。問題がなければ「OK」と表示されます。
RESULT : ---	_____	チェックの結果を表示します。問題がなければ「SUCCESS」と表示されます。
{ TEST }	: CHECK START	
{ SERVICE }	: RETURN	

・上記の画面表示は一例です。

HDD CHECK

■ HDD (ハードディスクドライブ) のチェックを行うモードです。

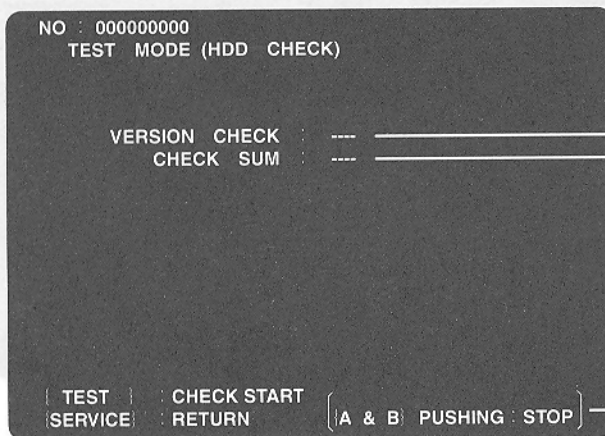
TEST (決定) ボタンを押すとチェックを開始します。

※ CHECK SUM をチェックするには約2時間程度要します。

※ CHECK SUM のチェックを強制終了するには、A (上移動) と B (下移動) ボタンを同時に数秒間押し続けてください。

チェックが終了すると各項目の右側に結果が表示されます。

メインメニュー画面に戻るには、すべてのチェックが終了(もしくは強制終了)してからSERVICE (キャンセル) ボタンを押してください。



HDDのバージョンをチェックします。問題がなければ「OK」と表示されます。

HDDのCHECK SUMをチェックします。チェック中は作業の進行具合が百分率(%)で表示され、問題がなければ「OK」と表示されます。

チェック中はこのように表示されます。

上記の画面表示は一例です。

RAM CHECK

■ グラフィックRAMのチェックを行うモードです。

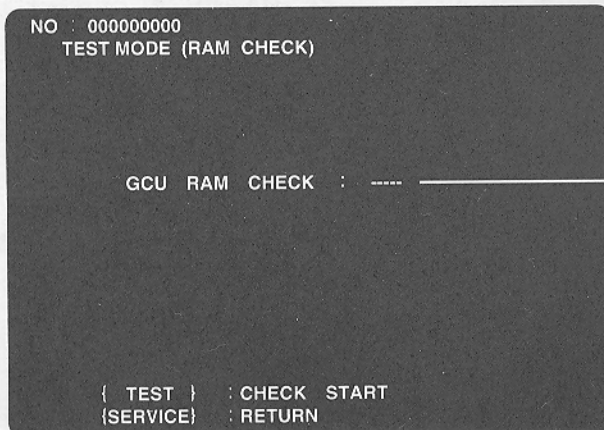
TEST (決定) ボタンを押すとチェックを開始します。

※チェック中は画面が乱れますが、異常ではありません。

チェックが終了すると項目の右側に結果が表示されます。

メインメニュー画面に戻るには、チェックが終了してからSERVICE (キャンセル) ボタンを押してください。

※チェックを行っているときは、メインメニュー画面に戻ることができません。



グラフィックRAMのチェックを行います。問題がなければ「OK」と表示されます。

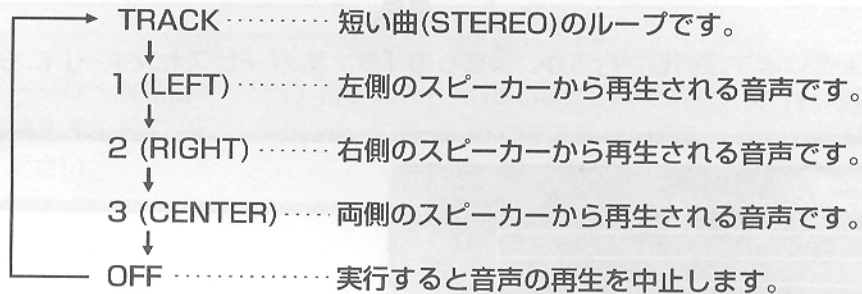
上記の画面表示は一例です。

SOUND CHECK

■サウンドのシステムをチェックするモードです。

A (上移動)、B (下移動) ボタンで SOUND NO. を選択し、TEST (決定) ボタンを押すと音声
が再生されます。

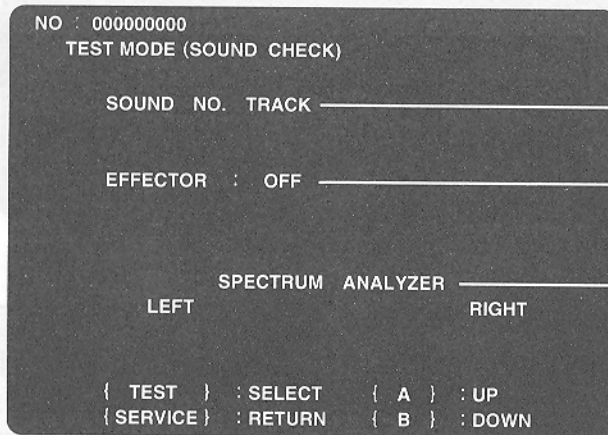
SOUND NO. は A (上移動) ボタンを押すごとに、次のように変わります。



各音声の再生を行い、問題がないか確認してください。

1P 側のペダルを踏むとエフェクターが ON になります。1P 側のエフェクトパネルでエフェク
トの選択と、パラメーターの調整ができます。

メインメニュー画面に戻るには、SERVICE (キャンセル) ボタンを押してください。



再生する音声が表示されます。

エフェクターが ON の場合、エフェクトの種類とパラ
メーターが表示されます。

音声の再生状態がグラフィックで表示されます。

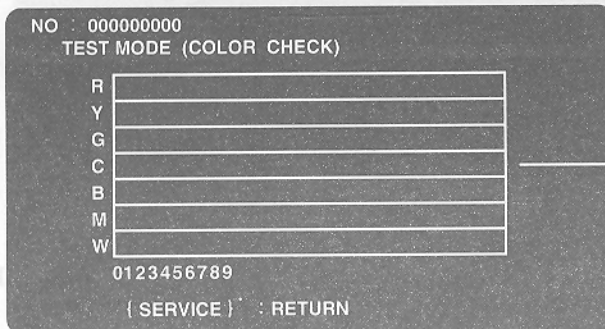
・上記の画面表示は一例です。

COLOR CHECK

- 色の表示状態を確認するモードです。
カラーバーの色が段階的に表示されると同時に、背景部分が十分黒くなるようにモニター調整基板で調整してください。(筐体の取扱説明書を参照)
メインメニュー画面に戻るには、SERVICE (キャンセル) ボタンを押してください。



- カラー調整は必ず技術者が行うか、最寄りの「コナミ サービスセンター」にお申し付けください。(有料)



各色が左→右へ暗→明と段階的に表示されます。

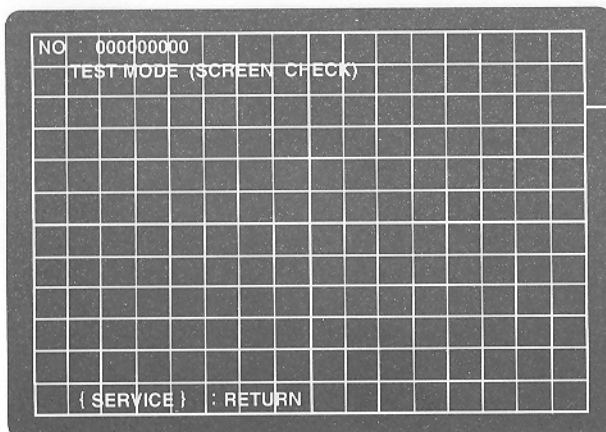
・上記の画面表示は一例です。

SCREEN CHECK

- 画面表示状態を確認するモードです。
格子状の模様が表示されますので、画面が歪んでいる場合はモニター調整基板で調整を行ってください。(筐体の取扱説明書を参照)
メインメニュー画面に戻るには、SERVICE (キャンセル) ボタンを押してください。



- 画面表示調整は必ず技術者が行うか、最寄りの「コナミ サービスセンター」にお申し付けください。(有料)



画面に格子模様が表示されます。

・上記の画面表示は一例です。

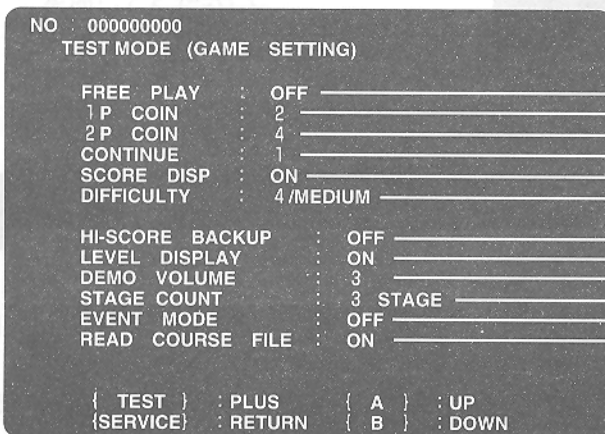
GAME SETTING

■ ゲームや運営に関する各種設定を行うモードです。

選択されている項目の左側にカーソル (>>) が表示されていますので、A (上移動) ボタン、または B (下移動) ボタンで項目を選択し、TEST (決定) ボタンで設定を行います。
メインメニュー画面に戻るには、SERVICE (キャンセル) ボタンを押してください。



- フリープレーの項目を「ON」にすると、無料でのプレーとなるため十分注意してください。
- イベントモードの項目を「ON」にすると、自動的にフリープレーになりますので十分注意してください。



上記の画面表示は一例です。

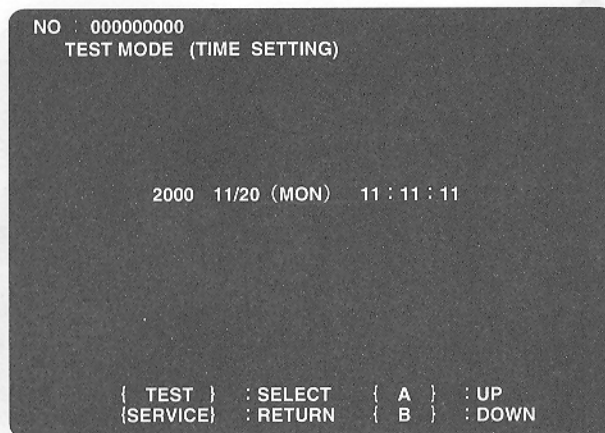
- ONにするとフリープレー (コインを入れずにゲームができます) 設定になります。
- 1人プレー時のコイン数を設定します。 1~8枚の範囲で設定可能です。
- 2人プレー時のコイン数を設定します。 2~16枚の範囲で設定可能ですが、1P COINの設定値より低くすることはできません。
- コンティニュー時のコイン数を設定します。 1~8枚の範囲で設定可能です。
- 得点の表示、非表示の設定を行います。 OFFにするとすべての画面で得点が表示されなくなります。
- 難易度の設定を行います。 1/EASIEST~8/HARDESTの8段階に設定できます。
- ハイスコアのバックアップを行うか設定します。 OFFにすると電源を切った時点でハイスコアがクリアされます。
- 難易度設定を画面に表示するかを設定します。 ONにするとタイトル画面の右上に難易度を表示します。
- デモ時の音量設定を行います。 OFF、1、2、3の4段階に設定できます。
- TSUNAGIモード以外のステージ数設定を行います。 3または4のどちらかに設定することができます。
- イベントモードの設定を行います。 OFFとON (1 STAGE) ~ ON (4 STAGE) の5段階の設定を行うことができます。
※イベントモードをONに設定すると、コイン設定は自動的にフリープレーになりますのでご注意ください。
- FDDからTSUNAGIモードのコースファイルを読み込むかの設定を行います。 ONに設定するとコースファイルの入っているFDでプレーしたときに、コースファイルが本体に記憶されます。

TIME SETTING

■ 内部時計の設定を行うモードです。

選択されている項目が赤色で表示されますので、TEST (決定) ボタンで項目を選択し、A (上移動)、B (下移動) ボタンで値を設定してください。

メインメニュー画面に戻るには、SERVICE (キャンセル) ボタンを押してください。



上記の画面表示は一例です。

BACKUP CLEAR

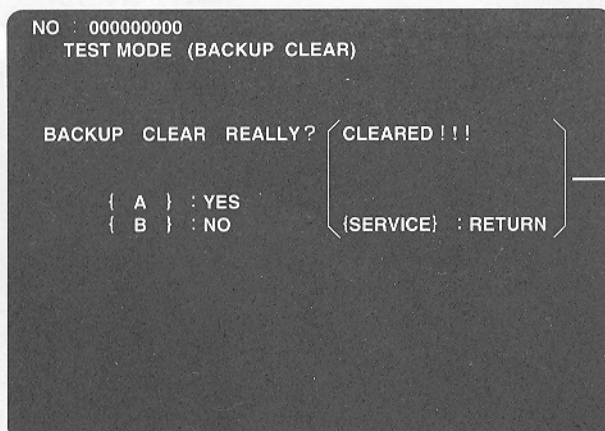
■ 筐体内に記憶されているバックアップメモリーの内容を初期化するモードです。

A (上移動) ボタンを押すとバックアップメモリーがクリアされ、画面に大きく「CLEARED!!!」と表示されます。

※バックアップメモリーのクリアを行うと、各種設定が初期化されますので、設定を行ってから運営してください。

※バックアップメモリーのクリア後にメインメニュー画面に戻るには、SERVICE (キャンセル) ボタンを押してください。

バックアップメモリーをクリアせずにメインメニュー画面に戻るには、B (下移動) ボタンを押してください。



初期化が終了すると画面表示が図のように替わります。

上記の画面表示は一例です。

FDD CLEANING

■ FDD をクリーニングする際に使用するモードです。



● FDD のクリーニングは 3 週間ごとに行ってください。クリーニングを行わないと FDD が作動不良を起こす場合があります。

クリーニング用の FD を準備して FDD に挿入してください。

※クリーニング用 FD は本体に付属していますが、20 回以上使用した場合は市販のクリーニング用 FD をお買い求めください。

TEST (決定) ボタンを押すと、クリーニングが開始され、終了すると「CLEANING END !!」と表示されます。

メインメニュー画面に戻るには、クリーニングの実行中以外に SERVICE (キャンセル) ボタンを押してください。

※クリーニングを行っているときは、メインメニュー画面に戻ることができません。

```

NO : 00000000
TEST MODE (FDD CLEANING)

INSERT CLEANING DISK

{ TEST } : CLEANING START
(SERVICE) : RETURN
  
```

・上記の画面表示は一例です。

3 遊びかた

■ゲームの内容

本製品は、曲にあわせて画面の指示通りにキーボードをたたいたりターンテーブルを回したりすることによって、曲の演奏をシミュレートできる音楽ゲームです。

1人、または2人の同時プレーが可能です。

■遊びかた

1 コインを入れます。

1クレジット分のコインで1Pプレー、2クレジット分のコインで2Pプレーを行うことができます。

● オプションプレーの選択と内容

コイン投入後に画面にオプションプレーウインドウが表示され、キースイッチを押すと各種オプションプレーを設定することができます。

各スイッチは押すごとに設定が替わります。



No.1 スイッチ：通常プレー→BATTLE→1P-CENTER→通常プレー

No.2 スイッチ：通常プレー→MIRROR→RANDOM→通常プレー

No.3 スイッチ：通常プレー→DOUBLE→通常プレー

No.4 スイッチ：通常プレー→HI-SPEED1→HI-SPEED2→HI-SPEED3→通常プレー

No.5 スイッチ：通常プレー→HIDDEN→SUDDEN→HID/SUD→通常プレー

● 各オプションの説明

BATTLE PLAY : 2P時の譜面が両方とも同じになります。

1P-CENTER PLAY : 1P側のスクラッチと2P側の5鍵を使ってプレーします。

MIRROR PLAY : ターンテーブル以外の譜面配置が通常の左右反転したものになります。

RANDOM PLAY : ターンテーブル以外の譜面配置がランダムになります。

DOUBLE PLAY : 1人で1Pと2P両方の譜面をプレーします。ゲージは1本になります。

HI-SPEED1,2,3 : 譜面の落下速度が速くなります。3が最速となります。

HIDDEN PLAY : 譜面が途中で消えます。

SUDDEN PLAY : 譜面が途中から出現します。

2 スタートボタンを押すとゲームが始まります。

FDプレーを行う場合はスタートボタンを押す前にDOS/Vフォーマット済みの3.5インチ2HDのフロッピーディスクをFDDに挿入しておきます。

3 モードを選択します。ターンテーブルで選択し、キースイッチで決定します。

KOBAKO (BASIC) MODE : 全3ステージ(または4ステージ)でステージごとに曲を選択してプレーします。プレーできる曲の中には練習ステージが含まれており、難易度の低い初心者向けのモードです。

SHIKOMI (HARD) MODE : 全3ステージ(または4ステージ)でステージごとに曲を選択してプレーを行います。

TSUNAGI (EXPERT) MODE : 全4ステージでプレー前に4曲を選択し、連続してプレーを行います。

4 プレーする曲を選択します。

ターンテーブルで曲を選択し、白色のキースイッチで決定します。 アナザー一曲、フットバージョン曲の存在する曲は黒色のキースイッチを2個同時に押すとアナザー曲、フットバージョン曲を選択することができます。

TSUNAGI MODEでは白色のキースイッチで決定、アナザー一曲の存在する曲は黒色のキースイッチを2個同時に押すとアナザー曲を選択できます。 また、黒色のキースイッチのどちらかを押し続けることで、選んだ曲をキャンセルすることができます。

5 ゲームが開始すると画面に演奏用のゲージが出てきます。

音符がゲージ下部の赤色の判定線に重なった瞬間に、ゲージに対応したキースイッチを押したり、ターンテーブルを回してください。 KOBAKO、SHIKOMI両モードでは、操作のタイミングが合っているとグループゲージが上昇します。

ステージ終了時にグループゲージが赤色まで達していればステージクリアです。 また、ゲームオーバーの場合は、クレジットを追加することでコンティニューできます。

TSUNAGI MODEではグループゲージはスタート時に満タンで始まり、プレーのタイミングが合っていないと減り、プレー中にグループゲージがなくなった時点で強制的にゲームオーバーとなります。

■インターネットランキングについて

本製品は、当社のホームページにおけるインターネットランキングに対応しています。

パスワードの入手方法

- 1 エキスパートモードのランキング対象コースをプレーして3ステージ以上クリアします。
- 2 ゲーム終了時にネームエントリー画面になりますので、ネームエントリーを行ってください。
- 3 ネームエントリー終了後に画面にDJ NAMEとパスワードが表示されます。
 - 1人の場合は1つのDJ NAMEと1つのパスワードが表示されます。
 - 2人の場合は2つのDJ NAMEと1つのパスワードが表示されます。
 - ※2人でバトルプレーを行った場合は、2つのDJ NAMEと2つのパスワードが表示されます。(3ステージ以上クリアしたプレーヤーのみ)
- 4 画面に表示されたDJ NAMEとパスワードをメモなどに記録してください。
 - ※FDプレーを行った場合は、FDにパスワードがテキストとして保存されます。

ランキングの参加方法

入手したDJ NAMEとパスワードを当社ホームページに登録します。
詳細は下記アドレスの本製品ホームページをご参照ください。

<http://www.konami.co.jp/am/>

※当社指定のホームページのアクセスは、本製品以外の場所（お手持ちのパソコンなど）から行い、また、アクセスのための費用はプレーヤーの負担となります。

ランキングイベントの開催や期間についてのお知らせは、別途ご案内させていただきます。
(都合により開催しない場合もございますので、あらかじめご了承ください)

4 正常に作動しないとき

電源を入れても正常に作動しないときは、次の対処を行ってください。 対処を行っても症状が改善されないときや、本書に記載以外の症状が発生したときは、直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。

エラーコード	考えられる原因と確認箇所	対 処
E100 ROM ERROR	● ROMエラー	○メイン基板のROM交換が必要です。直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E120 WORK RAM ERROR	● WORK RAM 破損	○メイン基板の交換が必要です。直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E121 GCU RAM ERROR	● GRAPHIC RAM 破損	
E122 SPU SOUND RAM ERROR	● SOUND RAM 破損	○SPU基板の交換が必要です。直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E123 FLASH RAM ERROR	● FLASH RAMエラー	○メイン基板の交換が必要です。直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E140 ATAPI INIT ERROR	● ATAPI初期化エラー	○CD-ROMが汚れているので清掃してください。 (12ページ参照) ○それでも改善されない場合は、CDドライブ、あるいはメイン基板の交換が必要です。直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E150 BACKUP RAM UNFORMAT	● BACKUP RAM 未初期化	○テストモードで「BACKUP CLEAR」を実行してください。

5 システムリカバリーモード

4 正常に作動しないとき

症 状	考えられる原因と確認箇所	対 処
E160 BACKUPRAM ERROR	●BACKUP RAM 破損	○メイン基板の交換が必要です。直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E161 BATTERY ERROR	●BATTERYエラー	○メイン基板の電池交換が必要です。お手持ちの本体取扱説明書の「電池の交換とシステムリカバリーモード」の項目を参照し、電池を交換してください。
E165 RTC ERROR	●RTC 破損	○メイン基板の交換が必要です。直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E166 RTC UNFORMAT	●RTC 未初期化	○システムリカバリーを行ってください。(35ページ参照)
E171 I/O ERROR	●I/O 未接続	○PCBユニットに接続されている束線が確実に接続されているかどうかご確認ください。
E200 ATAPI ERROR	●CD-ROM ドライブエラー	○CD-ROMが汚れているので清掃してください。(12ページ参照) ○それでも改善されない場合は、CD-ROM/CDドライブの交換が必要です。直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E201 ISO ERROR	●CD エラー	○CD-ROMが汚れているので清掃してください。(12ページ参照) ○それでも改善されない場合は、CD-ROMの交換が必要です。直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E540 COIN ERROR	●コインエラー	○コインが詰まっているので取り除いてください。

4 正常に作動しないとき

エラーコード	考えられる原因と確認箇所	対処
E601 COMMUNICATION CHIP ERROR	●通信チップエラー	○メイン基板の通信チップが壊れています。 直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E700 SPU ROM ERROR	●SPU ROM 破損	○本製品のROMが確実に取り付けられているか確認してください。 ○それでも改善されない場合は、SPU基板の交換が必要です。 直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E701 SPU WORK RAM ERROR	●SPU WORK RAM 破損	
E702 SPU DUAL PORT ERROR	●SPU DUAL PORT RAM 破損	
E704 SPU ERROR	●SPU 通信エラー	
E710 HDD ERROR	●HDDエラー	○HDDに接続されているコネクタが正しく接続されていないか、HDDの交換が必要です。 直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E720 HDD DATA ERROR	●HDDデータエラー	
E800 NO SECURITY ERROR	●NO SECURITYエラー	○セキュリティキーが正しく確実に取り付けられているか確認してください。
E801 SECURITY ERROR	●SECURITYエラー	
E940 HARDWARE ERROR	●HARDWAREエラー	○メイン基板とCD-ROM、セキュリティキーのバージョンが合致していません。正しいCD-ROMとセキュリティキーをセットするか、メイン基板の交換が必要です。 直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E950 FDD ERROR	●FDD エラー	○FDDに接続されているコネクタが正しく接続されていないか、FDDまたはインターフェース基板の交換が必要です。 直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。
E960 ST224 ERROR	●エフェクターエラー	○拡張基板の交換が必要です。 直ちに筐体の主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。

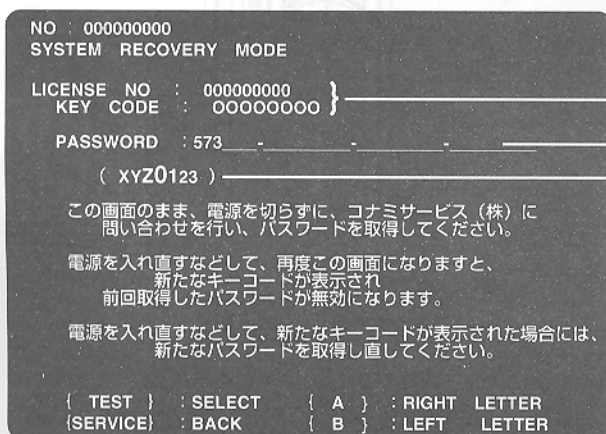
5 システムリカバリーモード

■システムリカバリーモードについて

メイン基板上のバックアップ用電池を交換したり、着脱したりした場合、エラー「E166」が表示されます。 そのときは下記の手順にしたがって、システムリカバリーを行ってください。

- 1 エラー表示時、画面下部に「{ TEST } : SYSTEM RECOVERY MODE」というメッセージが表示されます。 TEST (決定) ボタンを押してシステムリカバリーモードを起動すると、下記画面が表示されます。

●これ以降、すべての作業が終了するまで絶対に電源を切らないようにしてください。 誤って電源を切った場合は、最初からやり直してください。



この番号を最寄りの「コナミ サービスセンター」までお知らせください。

パスワードはここに入力されます。

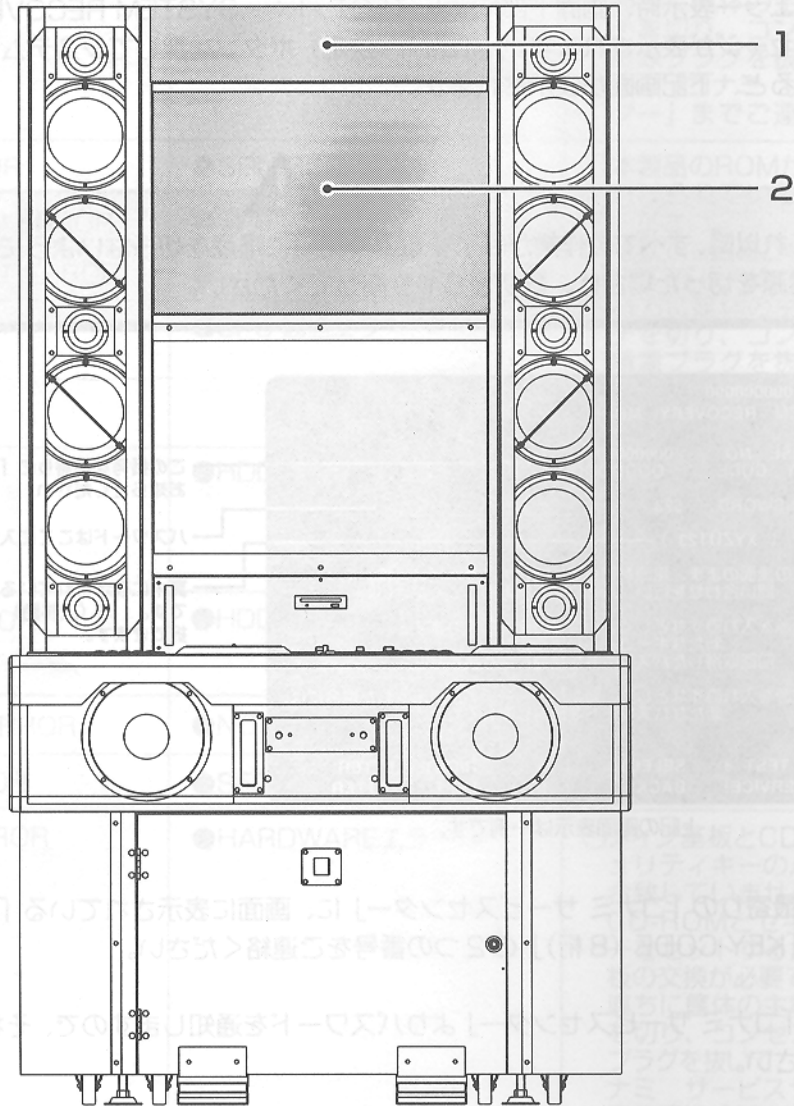
真中に表示されている大きな文字が選択されている文字です。 A (上移動)、B (下移動) ボタンで文字を選択できます。

上記の画面表示は一例です。

- 2 最寄りの「コナミ サービスセンター」に、画面に表示されている「LICENSE NO (9桁)」と「KEY CODE (8桁)」の2つの番号をご連絡ください。
- 3 「コナミ サービスセンター」よりパスワードを通知しますので、それを画面上で入力してください。
- 4 パスワードの入力はサービスパネル上の各ボタンを使用して行います。 A (上移動)、B (下移動) ボタンで文字を選択し、TEST (決定) ボタンを押すと文字が入力されます。 入力を間違った場合は、SERVICE (キャンセル) ボタンを押すと1文字ずつ消去できます。
- 5 パスワードの入力が終わると、画面に「PASSWORD OK !!」と表示されますのでTEST (決定) ボタンを押してください。 セルフテスト終了後ゲームモードになります。
※入力したパスワードが間違っていた場合は、画面に「ILLEGAL PASSWORD !!」と表示されますので、TEST (決定) ボタンを押してからパスワード確認し、入力し直してください。

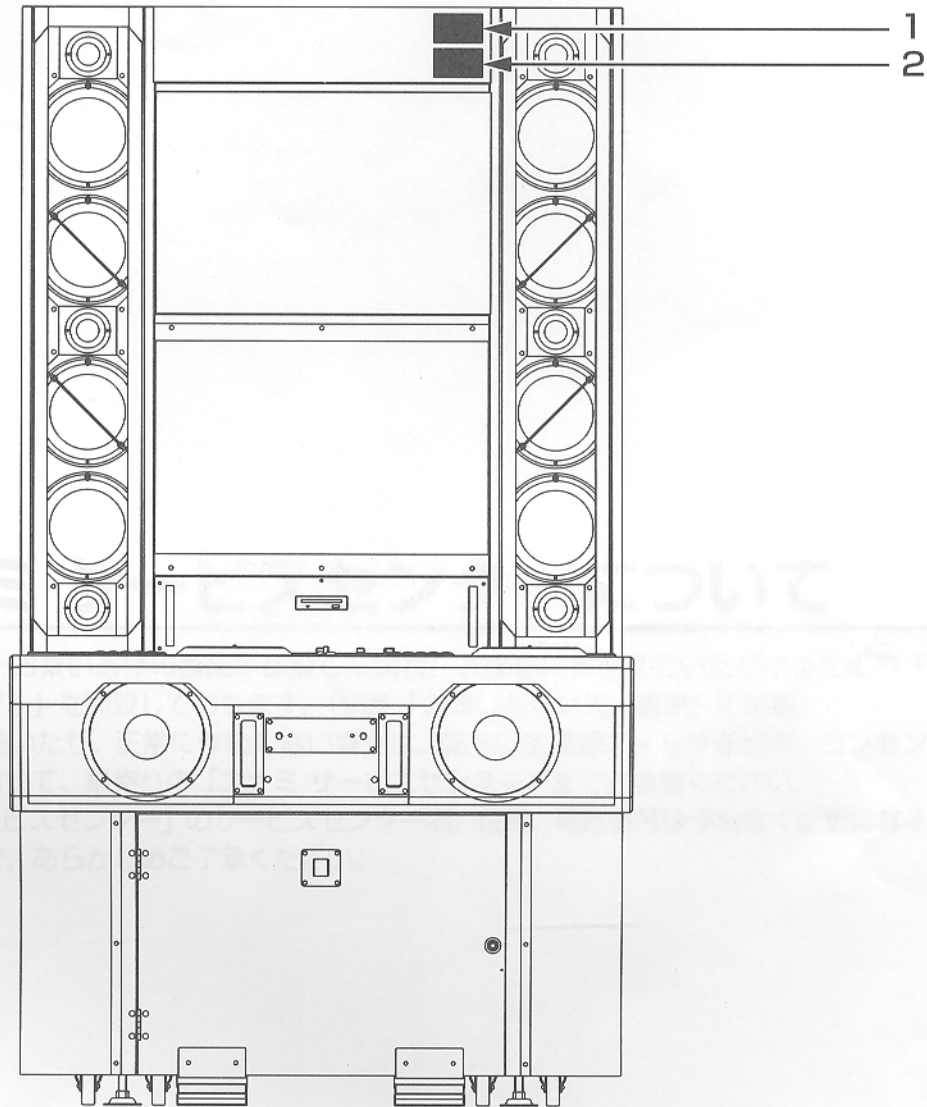
6 付属資料

■部品図



No.	部品番号	部品名称	数量	備考
1	0000100405	POP/UP	1	上ポップ
2	0000100419	PANEL,BOARD	1	

■警告ラベルの貼付位置



1

▲ 注意 (ちゅうい)

フダ 次の方はプレイしないでください。

- ・ 飲酒している。
- ・ 疲労、睡眠不足、病中病後、ケガ、および体調がすぐれない。
- ・ 妊娠している、または妊娠の可能性がある。
- ・ 音、光、映像などの刺激で筋肉のけいれんや意識の喪失などを経験した。もしくはそのおそれがある。
- ・ 医師から激しい運動を制限されている。

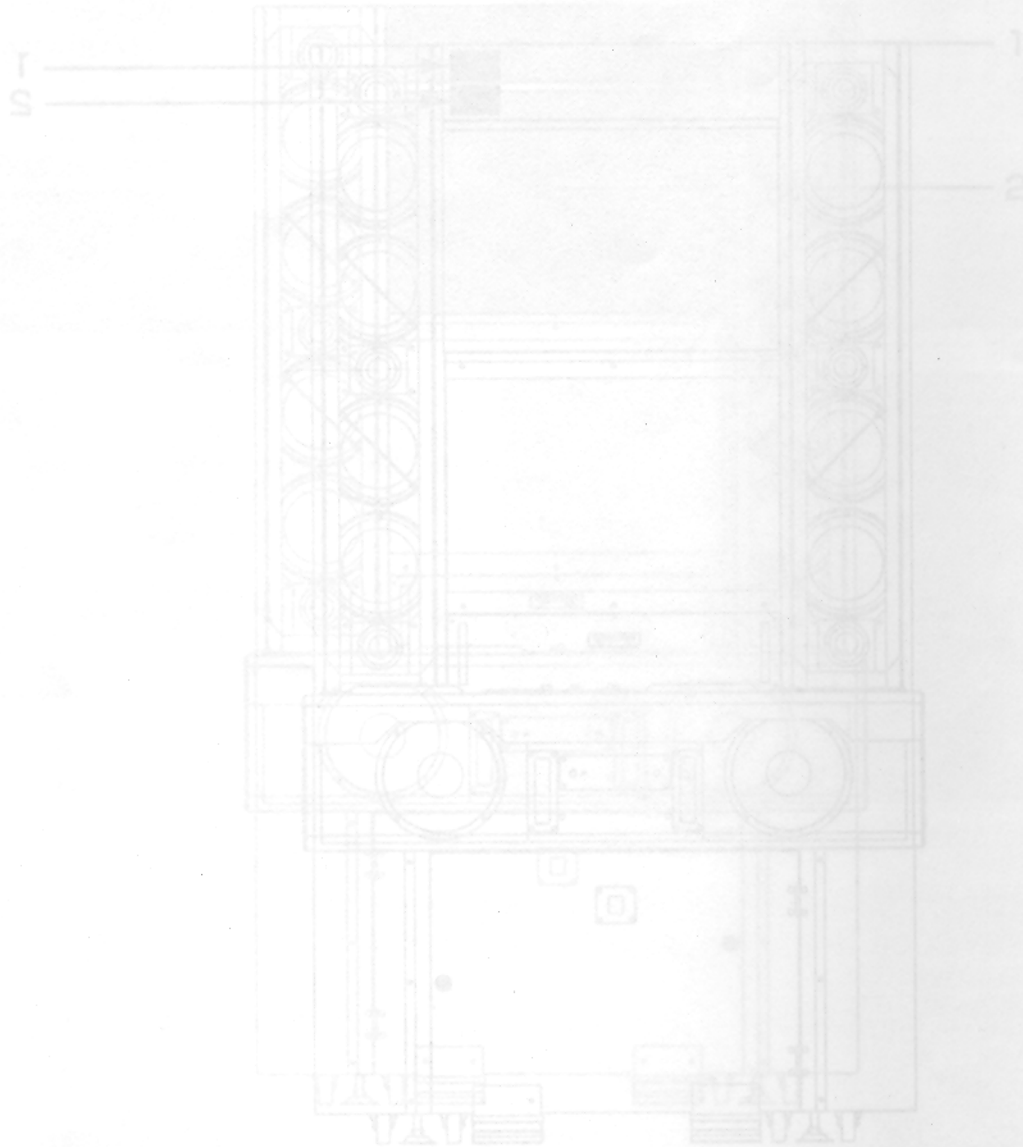
2

▲ CAUTION

Please do not play this game if

- you have been drinking.
- you are tired are sick or have been recently sick.
- you think you might be pregnant.
- You are susceptible to muscle spasms or loss of consciousness due to sound, light or moving pictures.
- Your exercise is medically regulated.

MEMO 資料



S	I	
CAUTION Please do not touch the fan. The fan is used for cooling the device. If the fan is stopped, the device will overheat. Do not touch the fan blades. If the fan is stopped, the device will overheat. Do not touch the fan blades.	POP/UP PANEL BOARD	CAUTION Please do not touch the fan. The fan is used for cooling the device. If the fan is stopped, the device will overheat. Do not touch the fan blades. If the fan is stopped, the device will overheat. Do not touch the fan blades.

■ コナミ サービスセンターについて

当社では、万一お買いあげの製品が故障した場合、お客様にお役立ていただけるための「コナミ サービスセンター」を開設しております。(別紙「お問い合わせ先一覧表」に記載)

異常な状態が続いたり、正常に作動しない場合は、直ちに主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、最寄りの「コナミ サービスセンター」までご連絡ください。

・「コナミ サービスセンター」のサービスセンター名、住所、電話番号は予告なく変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

MEMO

コナミコンピュータエンタテインメント株式会社

KONAMI[®]

コナミコンピュータエンタテインメント株式会社は、コンピュータゲーム、音楽、映像、出版、スポーツ用品、その他多岐にわたる分野で活動しています。また、コナミグループは、コンピュータゲーム、音楽、映像、出版、スポーツ用品、その他多岐にわたる分野で活動しています。また、コナミグループは、コンピュータゲーム、音楽、映像、出版、スポーツ用品、その他多岐にわたる分野で活動しています。